



Wリーグ再開に伴う新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン Ver.2(0915)

1. はじめに

第22回Wリーグ(2020-21シーズン)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初発表のスケジュールを変更し、7月17日におけるプレスリリースのとおり、東西カンファレンスを採用し、東西エリア集中開催にて開催いたします。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑みながら、観客入場制限開催(以下、入場制限試合)、もしくは無観客(リモート)試合として開催する運びとなりました。

本ガイドラインは、第22回Wリーグ(2020-21シーズン)に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染予防および対処についてのWリーグ選手、関係者の行動指針を示し、安全にWリーグ公式戦を実施できるように意識を統一することを目的として作成したものです。

本ガイドラインに示す内容は、対策に向けての共通ルールと位置付け、必ず実施していただくとともに、各チームにおいても適宜、感染症の感染予防対策を実施するようお願いいたします。感染状況に基づく政府の対策、都道府県の方針に従うことが大前提とし、状況の変化に応じて、本ガイドラインを随時更新いたします。

■新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の特徴

- ・発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状が報告されている
- ・発症日の2日前から他人へ感染させる可能性があり、その間に濃厚接触した者は隔離の対象となる
- ・感染から発症までの潜伏期間は1~14日、平均5日とされている
- ・感染源を調査する場合は過去14日間の行動記録(対人接触)をさかのぼる

2. 必ず行うこと

①PCR検査(リーグ公式)

- ・対象者:出場全チームにおいて毎試合ベンチ入りする者
選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長・Wリーグ担当審判員およびWリーグ事務局
 - ・Wリーグ指定のレギュレーションに従いシーズン前～シーズン中にかけて全6回実施する
第1回 9月7日(月) とする
第2回以降 リーグ指定週にて、実施とする
*実施しない者は原則として本シーズンのベンチ入りを認めない。
*上記PCR検査の費用はエントリー者に限りWリーグが負担する
 - ・対象者がシーズン期間において、新型コロナウイルス感染者となった場合、保健所の指示に従って病院、自宅、もしくは宿泊施設での療養を行う。退院、隔離解除の基準は医療機関、保健所の指示に従い、退院後の復帰についてはp. 9にある「退院後～復帰への基準」に則る。
 - ・対象者がシーズン期間において、濃厚接触者となった場合、保健所の指示に従い自宅等で隔離待機すること。隔離解除の基準はp. 9-10にある「濃厚接触者の復帰フロー」に則る。
*PCR検査を行う場合は上記の定期受診分を前倒しで使用する。もしくは、急を要する場合はチーム負担にて近隣の検査業者及び機関にて実施してもよい。
 - ・やむを得ない事情でリーグ公式PCR検査が受検できなかった場合、速やかにWリーグへ当該選手・スタッフ名を報告すること。
- 原則として直近の公式PCR検査を受検し、陰性判定を受けていない選手の出場は認められません。自チーム負担・手配にてPCR検査を実施すること。
検査実施を証明できる資料をWリーグに提出すること。

②健康管理日報(アトレータ)の記入と管理

- ・対象者:出場全チームにおいて当日ベンチ入りする者
選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長など
※①を実施する(した)者のみ

本来のベンチ入りは各チームエントリー者であるが、今大会は感染予防の観点から健康管理日報に記載のある者で、且つ「37.5℃以上または平熱+1.5度を超える発熱」がない者のみベンチ入りを可とする。

- ・記入期間:2020年8月18日(月)～シーズン終了までの毎日
- ・健康管理は「アトレータ」を利用して、各チーム部長が「健康管理責任者」として管理する
- ・「アトレータ」のマスト入力項目は「体温」「体調」「味覚障害」項目とする

・健康管理日報に記載のある者で、37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱がある場合は、可能な限り他の選手と隔離し、速やかにWリーグへ報告すること

※一般的な目安は 37.5 度とされていますが、平熱の高低差があるため、早期に発熱者をスクリーニングするために平熱+1.5 度も発熱ありとします。以後の本文における解釈についても同様です。

③行動記録の記入と管理

- ・対象者:当日ベンチ入りする者
- 選手・HC・各コーチ・TR・MGR・GM・部長など
※①を実施する(した)者のみ

Wリーグから提出要請があった場合は、健康管理担当者の責任において速やかに提出すること。

例) #1 山田 花子

主な行動	6:00 起床	9:00 チーム練習
	12:00 昼食	13:00 外出(行先〇〇、交通手段、同伴者)
	18:00 帰宅	19:00 夕食

※「アトレータ」の備考欄に記入をお願いします。

※②③はアトレータに準ずるツールの利用も可とするが、リーグが内容の提出を求めた場合は速やかに協力すること。

④リーグへの報告

①に記載しているとおり選手・チームスタッフ等エントリースタッフが下記に当てはまる場合、対象者は自宅待機とした上で必ずWリーグへの報告を行うこと。

- ・37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱を認めた
- ・せき | 頭痛 | 体のだるさ | のどの痛み | 食欲低下 | 睡眠時間 | 味覚や嗅覚の異常がある
- ・発熱が無くても「息苦しさ(呼吸困難)」「強いだるさ(倦怠感)」等強い体調不良を感じる
- ・Wリーグがチームに義務付けるリーグ開催前の検査以外でPCR検査を予定している
- ・上記のPCR検査の結果が出た

■報告の際、以下の事項についてお知らせください

- ・症状の発生した当該者の役職や所属セクション※個人名の公表義務はございません
- ・発生している症状と、発生期間
- ・医療機関の受診状況や、チームドクターなどへの相談経過
- ・選手やチームスタッフとの接触歴(症状発生から 2 日前にさかのぼって)

■選手及びチーム関係者に疑い症状が出た場合の対応

- ・対象者から症状が出た日から 14 日前までの行動記録と、症状が出た日以降の行動記録のヒアリング
症状を自覚した時点で速やかに報告/自宅待機
- ・チームドクターに報告:チームドクターは各地域の専門家・連携医療機関への連絡
- ・各地域の専門家・連携医療機関のアドバイスに基づく濃厚接触者の洗い出し
濃厚接触者の抽出及び集団発生に対するリスク管理
- ・PCR 検査及び医療機関受診対象者の確認:健康チェック表、自覚症状を確認の上、PCR 検査検体の採取(チームドクター、専門家・連携医療機関など)
- ・マスク対応:各チームの関係者及びチームドクター、専門家チーム・アドバイザーによる記者会見などへの対応

■報告・相談の取り扱いについて

- ・Wリーグ内コロナ対応担当だけが情報の閲覧権限を有する
- ・他チームの参考となる場合は個人情報を取り除いた上、情報を共有することがある

※緊急時などチーム⇄リーグ間の報告を簡略化するため、Wリーグ職員がアトレータの管理者として登録されています。個人データの取り扱いについては守秘義務を遵守いたします。

⑤疑い症状がある場合の相談や医療について

■疑い症状がある場合の相談

厚生労働省が発表している、以下いずれかの目安に該当する者は、チームドクター、帰国者・接触者相談センター、医療機関にあらかじめ電話で相談すること。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある
2. 高齢者や基礎疾患がある者で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある

3. 比較的軽い風邪が続く、特に 4 日以上続く場合は 37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える発熱が無くても相談する

4. 37.5℃以上の発熱が 2 日間続いた場合(個人差があるため平熱が低い方はプラス 1.5 度を基準)

※感染者でも発熱症状が出ないケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談すること

相談・受診の時点で症状が出た日から 14 日前までの行動記録と、症状が出た日以降の行動記録を準備し、帰国者・接触者相談センター、チームドクターを含むチーム側にも共有すること。(症状を自覚したタイミングで報告/自宅待機を行うこと。)

※帰国者・接触者相談センターはすべての都道府県に設置され、24 時間対応しています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【帰国者・接触者相談センター ホームページ】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

■疑い症状又は濃厚接触疑いがある場合のチームの活動

選手・チーム・スタッフに新型コロナウイルスの感染疑い症状が出た、もしくは感染疑い症状があり PCR 検査を受け、結果を待っているなどの状況の場合、チームドクターなどに相談を行いながら本人以外の活動を検討してください。

⑥PCR 検査の結果、陽性反応が出た場合の対応

■陽性判定が出た本人の対応

- ・検査結果を所属チームへ報告
- ・医療機関もしくは保健所から指導された療養方法とその他の情報をチームへ共有
- ・療養(入院または自宅療養)
- ・状況に応じて療養の途中経過をチームへ報告

■陽性判定者が所属するチームの対応

- ・本人からの報告をWリーグへ報告
- ・チームドクター等に相談する
- ・濃厚接触者の抽出及び集団発生に対するリスクの管理
 1. 医療機関受診の対象者の確認:健康チェック表、自覚症状を確認の上、医療機関受診対象者の確認(チームドクターなど)

2. Wリーグと今後の方針を相談
3. 保健所によって濃厚接触者と指定された者の確認
チーム関係者の場合は自宅待機指示
4. その他の選手やチーム関係者は原則チームの動きに従い、チームは予定どおりに試合・練習を行う
チーム全体の活動はこの時点では停止しないが、検温等の健康チェックをより厳正に実施する
5. マスコミ対応:チーム、リーグとして記者会見などへの対応

⑦濃厚接触者と判断された場合の対応

■本人又は同居家族・同居者が濃厚接触者と判断された場合

- ・本人は自主隔離を行うこと
- ・チームドクター、専門家チーム・アドバイザーと相談のうえ、診察や検査の実施
- ・Wリーグへの報告

⑧情報発信について

■情報発信の基準:

Wリーグ関係者(選手/エントリースタッフ)が①PCR検査で陽性になった場合、②濃厚接触(疑い)者になった場合、速やかに事実を発表する

- ・PCR検査受診時は、発表しない
- ・発症による自主隔離も、発表しないことを推奨する
- ・個人名は原則として公表しない

⑨新型コロナウイルス感染者及び

濃厚接触者が出た場合のレギュレーション

■感染者及び濃厚接触者が出た場合の試合の取り扱い

感染者及び濃厚接触者を除き、「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来る1チーム8名の選手とJBAコーチライセンスのB(F)級以上を保有するコーチ1名が帯同できない場合、試合不成立・中止扱いとし、勝敗を付けない。

■感染者及び濃厚接触者が出た場合の対応

選手及びチームスタッフに感染者もしくは濃厚接触が確認された場合、当事者は「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来るまで、試合を含めたチーム活動を以下の通り実施不可とする。

感染者	感染確認次第、適切な治療を受け、完治（判断基準は後述）までは活動を禁止。
濃厚接触者	感染者が発生次第、保健所の確認などにより濃厚接触者を判断。 14日間の自宅待機とし、活動を禁止。
非濃厚接触者	制限なし

■感染者が出た場合で且つ、試合当日までに濃厚接触者の判定が困難で不明確な場合
→専務理事判断にて試合を中止する場合がある

■感染者の復帰タイミング

感染者の復帰タイミングについては、厚生労働省の基準と競技特性を踏まえ、下記に示す目安を設定する。

自宅療養解除もしくは退院可能(完治診断)からの復帰は、特に有症状だった場合は、体力低下や体調がすぐれないケースもあるため、チームドクターなどと相談しながら選手の復帰タイミングを検討すること。

自宅療養、入院療養の場合も、新型コロナウイルス感染症の症状有無によって全体的な期間は変わり得る点に留意すること。

また復帰までの時間は、症状の軽快まで個人差があるため、あくまで目安であることに留意すること。

▶感染者の復帰について

「退院基準」 厚労省新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第 2.2 版より

1. 有症状者の場合

- ①発症日【検体採取日】から 10 日間経過し、かつ、症状軽快後 72 時間経過した場合、退院可能とする。
- ②症状軽快後 24 時間経過した後、PCR 検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあけ、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする。

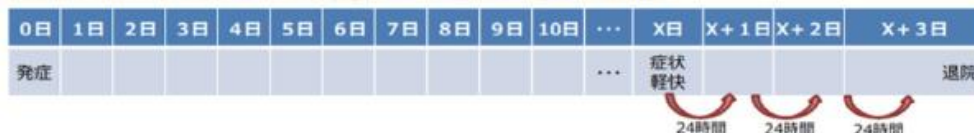
2. 無症状病原体保有者の場合

- ①検体採取日から 10 日間経過した場合、退院可能とする。
- ②検体採取日から6日間経過後、PCR 検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあけ、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする

【参考】 期間計算のイメージ図

【有症状者の場合】

- ① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合、退院可能



- ② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあけ、2回のPCR検査で陰性を確認できれば、退院可能



【無症状病原体保有者の場合】

- ① 検体採取日（陽性確定に係る検体採取日）から10日間経過した場合、退院可能



- ② 検体採取日から 6 日間経過後、24 時間以上間隔をあけ 2 回のPCR検査陰性を確認できれば、退院可能



「退院後～復帰への基準」

STEP1 自宅待機期間(2 週間)

内容:事後経過観察期間

STEP2 チーム活動への復帰期間(2 週間)

内容:チーム活動の再開

STEP3 公式戦出場

■濃厚接触者と判定された者の復帰タイミング

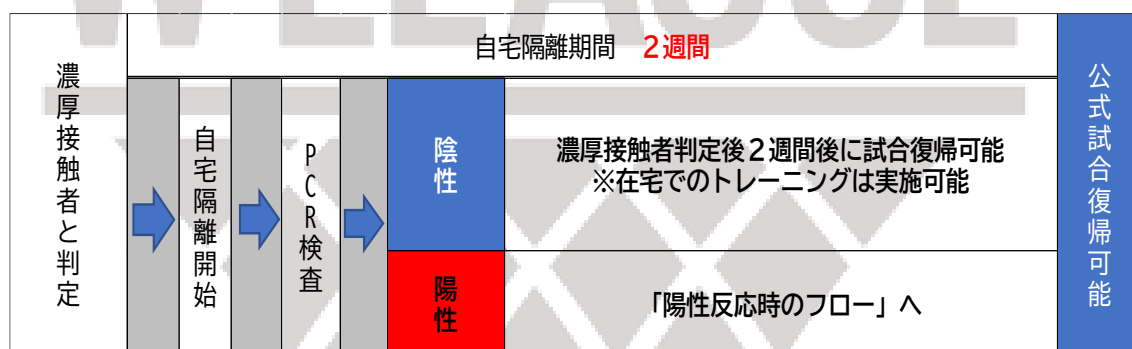
濃厚接触者と判断された場合、保健所の指示に従うこと。

症状がない場合であっても、潜伏期間の中央値は概ね 5 日であり、さらに発症 5 日目までに RNA 濃度がピークに到達し感染力もあることから、無症状病原体保有者に対しては曝露後 10 日目の検査が最も効率よく感染の有無を判定できると考えられる。

そのため、感染対策上の観点から自宅等での隔離待機などの対応を優先させて実施する必要がある。

なお、隔離解除後もマスク着用を心がけ、就業再開後も 14 日間は健康観察を継続することとする。

▶濃厚接触者の復帰フロー



⑩新型コロナウイルスの影響により試合実施不可能な場合のレギュレーション・順位の取り扱いについて

A:試合が単発で実施不可能になる場合

～一部チームで感染者および濃厚接触者が発覚した場合～

～アリーナ都合にて試合実施が不可能となった場合(施設利用者が感染など)～
もしくは専務理事判断につき当日の試合実施が不可能と判断した場合。

・試合の取り扱い

「PCR検査(リーグ公式)」において陰性が確認出来る最低限 1 チーム 8 名の選手と JBA コーチライセンスの B(F)級以上を保有するコーチ 1 名が帯同できない場合、当日の試合は行わない。

実施不可能となった試合の扱い

A:シーズン前半など代替試合が可能な場合

→ バイウィーク期間(11月、2月)に代替試合を行う。チーム体育館など活用。

B:シーズン後半など代替試合が不可能な場合

→ 「無効試合」とし、当該試合を除いた最終「勝ち点」※にて順位を決定する。

※「勝ち点制」について

今シーズンの順位は「勝ち点制」を採用し、「勝ち点」により決定する。

「JBA2020 バスケットボール競技規則・チームの順位決定方法(一部例外あり)に準ずる」

◆勝ち点について

○勝ちチーム 勝ち点2 ○負けチーム 勝ち点1

○試合不成立 勝ち点0

※試合不成立(コロナ感染、天災、設備不良等で代替開催も困難な場合)

◆2チーム以上が同じ勝ち点の場合は、下記の順序で順位を決定する。

- ・当該チーム間での対戦試合の勝ち点
- ・当該チーム間での対戦試合の総得失点差
- ・リーグ戦での全試合の総得失点差
- ・リーグ戦での全試合での総得点の大きい方

B:複数の試合が実施不可能となる場合

～感染が拡大し「緊急事態宣言」など、リーグ戦を中断せざるを得ない状況の場合～

～複数チームで複数人が感染してしまった場合～

～明らかに試合実施が理由でクラスターが発生してしまった場合～

・試合の取り扱い

上記のケースを含め、様々なケースが想定されるが、その時点での情勢によって判断も柔軟に行うべきと考えるため、適宜運営部会・理事会にて協議する。

A:シーズン前半の場合

速やかに前半のリーグ戦を中断する。

後半の再開が可能な場合

→実施できた前半と後半の成績と合わせ「2回戦総当たり」とする

B:シーズン後半の場合

速やかに後半のリーグ戦を中止する。

→実施できた前半の成績に加え、中止となる試合を除いた最終勝ち点にて順位を決定する。

C:順位決定方法

・レギュラーシーズン順位:

少なくとも東西 6 チームが 2 回戦 1 巡できた場合(50%消化)につき順位を決定する。

※2 回戦一巡できなかった場合は順位を決めない。

レギュラーシーズンの勝ち点に応じて東西各 1 位～6 位までを決定する。

・シーズン最終順位

プレーオフ進出8チーム:

①優 勝 プレーオフ・ファイナルの勝者

②準 優 勝 プレーオフ・ファイナルの敗者

③3位タイ プレーオフ・セミファイナルの敗者2チームを 3 位タイとし優劣をつけない。

④5位タイ プレーオフ・クォーターファイナルの敗者を 5 位タイとし優劣はつけない。

⑤7位タイ プレーオフ・セミクォーターファイナルの敗者を7位タイとし優劣はつけない。

レギュラーシーズン敗退4チーム:

総合順位はつけず各カンファレンスでの順位を最終成績とする。

D:リーダーズ・アワード

少なくとも東西 6 チームが 2 回戦を 1 巡した場合(50%消化)につき決定する。

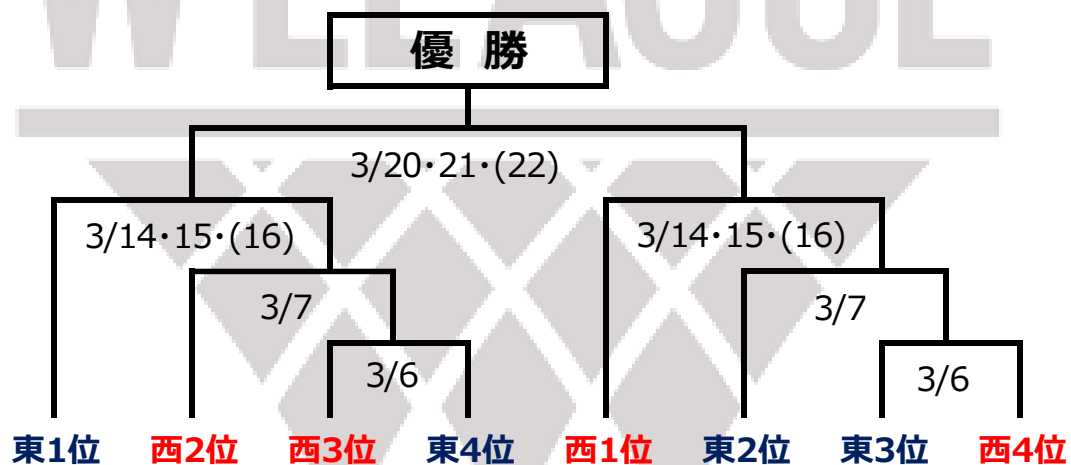
※2 回戦一巡できなかった場合はリーダーズ・アワードを選出・表彰しない。

E:プレーオフ

①少なくともレギュラーシーズンにおいて東西 6 チームが 2 回戦 1 巡(50%消化)した場合は東西 4 チームずつ進出の上、当初予定通りのレギュレーションでのプレーオフを行う。

②レギュレーションにおいて東西 6 チームが 2 回戦 1 巡できず途中終了した場合でも、今後のスケジュールにおいて、試合が行える見通しが立つ場合につき、トーナメント形式によるプレーオフにより最終順位を決定する場合がある。

③上記①も②も困難な場合はプレーオフを中止し、順位決めは行わない。



3. トレーニング・練習

① JBAのガイドラインが基本

・トレーニングや練習については、公益財団法人日本バスケットボール協会(以下、JBA)のガイドラインを目安とし、ステップの移行は各クラブの判断に委ねるが、チーム所在地の都道府県、あるいは地方自治体などの上位団体の方針に従うことが前提となることに留意すること。チーム所在地の都道府県や地方自治体のような上位団体によるスポーツ活動再開等に関する独自の方針がある場合はそれに従い、必要に応じて JBA ガイドラインを参考とすること。

※「JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン（手引き）」を参照ください

http://www.japanbasketball.jp/wp-tent/uploads/JBA_Guideline_tebiki_20200608.pdf

② 練習ゲームについて

・JBA 審判員の派遣は 8 月 2 日(日)からとする。
・「2020-21 トップリーグプレゲーム確認事項(兼チェックリスト)」を基に、新型コロナウイルス感染症の感染予防および対処について「招聘元チーム」「招待チーム」「審判員」「TO スタッフ」が共同して情報共有に努めることとする。

・招聘元の企業及び体育館独自の入館ルールがある場合は「招聘元チーム」は事前告知の上、「招待チーム」「審判員」「TO スタッフ」はこれを遵守する。

③ アーリーエントリー選手

・例年どおりのアーリーエントリー要項に順じ、アーリーエントリー必要書類を提出の上、リーグで TeamJBA への登録完了が確認でき次第チーム練習参加可能とする。
・新型コロナウイルス感染症のまん延期におけるバスケットが感染リスクを伴うことについて、選手、保護者及び所属元に説明し、了解を得ていること。

4. 移動・宿泊

① 都道府県をまたぐ移動について

緊急事態宣言が解除され都道府県をまたぐ移動が認められることが、リーグ開幕の前提となる。

都道府県をまたぐ移動の制約が再び決定した場合は、各自治体の指導のもと、移動の範囲は制限され、場合により公式試合の実施判断に影響が及ぶことに留意する。

② 交通手段について

可能な限り公共交通機関を利用しないことを推奨する。

・貸し切りバス：

事前の車内消毒はもちろん、運転手の体調管理やマスク・手袋の着用の協力、適度な換気を依頼すること。

車体サイズにもよるが可能な限り感覚を空けて着席すること。

・新幹線・飛行機

一般利用者との接点を極力減らすため、座席は可能な限りチームで固まって使用すること。

移動の際は、個人単位で予防対策を徹底すること。

移動中の会話は極力避けること。

乗車前と降車後の手指消毒、乗車中も手指衛生等に気を付けること。

③ チームでの食事について

・向かい合わせの配席は避け、選手の着席間隔を空けること。

・広いスペースが取れない場合は時間差での利用等の対策を講じること。

・BUFF形式は極力避けること。基本的に一人ずつ取り分けた状態で食事を用意させること。

・食事中、宿泊施設の従業員等は極力在室しないように要請すること。

④宿泊施設での注意事項

- ・宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう工夫すること。
 - ・施設単位またはフロア単位での貸し切りを積極的に検討すること。
 - ・食事会場はチーム専用となるよう手配すること。
- チームが使用する部屋は事前の消毒、換気を宿泊施設へ依頼すること。
- ・連泊する場合の客室の清掃は、チームの不在時に行うよう依頼すること。
- なお、清掃しないことも選択肢となり得る。

5. 無観客試合(リモートマッチ)

レギュラーシーズンの前半(年内 9 月ー10 月)は無観客(リモート)試合となる可能性がある。お客様の入場を認めないことはもとより企業関係者なども、入館できる人数を最小限とし試合を行う。

ここではリーグとして無観客(リモート)試合を実施する場合について記述する。

1) 試合当日にアリーナへの入場できる者

①チーム関連

A:ベンチ入りOK(アリーナフロア立入可) ※ピンクorオレンジの色付きADカード
本年のエントリーメンバー及び記名ADを持っているトレーナーおよびドクター等医療関係者で且つ「PCR検査(リーグ公式)」を受診し、且つ「健康管理日報」「行動記録」を記入している者

B:ベンチ入りNG・来場OK(スタンド指定場所での観戦のみ) ※白色ADカード
第22回Wリーグの「記名ADカード」を持参している者(本人のみ)
※一切の応援行為を禁止します。(大声を出す。音響に合わせて拍手する等。)

C:ベンチ入りNGだがアリーナフロア立入可

- ・チームドクターもしくはそれに準ずるもの(各チーム1名まで)
 - ・チーム広報担当者(各チーム原則1名まで)※サイドラインまでの接近撮影は可
- 【追記】・未エントリーではあるが直近の「PCR検査(リーグ公式)」を受検しているもの
※いずれも試合中のベンチ入りは不可とする

上記以外の入館は原則不可とする。

記名ADカードのない「会社役員」「親族」「アーリーエントリーしていない
入団内定選手」「応援団」「チアリーダー」「マスコット」も入場不可する。

※ただしチーム運営上やむを得ない場合は試合前日までにWリーグの許可を得ること。

B及びCでの来場を希望する場合は、必ず事前に申請すること。(フリーフォーム)
試合実施週の木曜日までにWリーグまでメールにて提出すること。

②審判員

JBAの指導のもと審判員に対しては以下の対応を行っている。※抜粋

1. 自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

2. 他者への感染防止のため

①毎日の健康チェック及び検温を徹底する。

②体温が37.5度を超える場合は、審判活動及び会議への参加を控える。

3. 体温が37.5度を超えている場合

①トップリーグ担当審判ならびにT級インストラクターは、キャンセル対応のため速やかにJBA 審判部へ連絡する。また、審判当日の朝、体温が37.5度を超えている場合も同様の対応とする。

※当日のキャンセルを極力なくすためにも、日々の健康チェックが非常に重要であることを十分に認識し、毎日の検温など自身でできる感染予防対策を徹底してください。

詳細については「実施運営ガイド」を参照。

③テーブルオフィシャルズ

試合中とその前後(業務中)は円滑な競技進行のためマスクは不着用とするが、フェイスシールドは着用するものとする。

館内ではマスク or フェイスシールド着用とし、37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える場合は交代する。

④コートスイーパー

コートスイーパーは全てマスク or フェイスシールド着用の上で業務に従事する。

37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超える場合は速やかに交代する。

⑤マスコミ・メディア各社およびテレビ中継クルー

原則マスク or フェイスシールド着用とするが、業務遂行上必要な場合は外してもよい。

なお、当日に 37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度を超えている場合は入場を認めない。

また、メディアは事前申請があった者のみ入場を許可する。

⑥ その他

- 1) 体育館スタッフ
- 2) 演出・進行・装飾・警備業者スタッフ
- 3) Wリーグ関係者

上記スタッフは原則マスク or フェイスシールド着用とするが、MCなど業務遂行上必要な場合は外してもよい。

なお、当日に体温が 37.5 度を超えている場合は入場を認めない。

⑦

2) 来場者のアリーナ入場時に必ず行うこと

※後述の「入場制限試合」でも原則同じレギュレーションとする。

①入場チェック

入場口(原則 1 か所とする)で入退場チェックを行う。

リーグは実施内容と来場者数をふまえ、適正な人数と設備を設置する。

来場時点でマスクの着用有無を確認。着用していない場合はマスク保有の確認、ない場合は配布する。

【追記】選手・スタッフのマスク着用について

選手・スタッフのマスク着用は以下の通りに定める。

「マスク不要」：オンコートの選手、試合中の HC 含むコーチングスタッフ(着用してもよい)。

「マスクが望ましい」：控え選手、GM、TR、MGR 等のチームスタッフ

アリーナ内・オフコートについては着用を推奨する。

②入場時の体温チェック

●選手・チームスタッフ・審判

顔認証サーモグラフィー による体温スクリーニングで発熱症状が確認された場合、接触型検温器で再度、体温チェックを行う。

各クラブのトレーナーとチームドクター等で相談の上、「健康管理日報」もしくは「アトレータ」に記録されている体温と比較し平熱と判断される場合は入場可、発熱と判断される場合は入場不可とする。

●その他入場者

- ・第一段階：顔認証サーモグラフィー による体温スクリーニング
 - ・第二段階：第一段階で発熱が確認された場合、非接触型検温器で体温チェック
 - ・第三段階：第二段階で発熱が確認された場合、接触型検温器で体温チェック
- 発熱と判断される場合は入場不可とする。

体温測定済みの者の識別方法を工夫する。また再入場時も体温チェックを行う。

③入場者リストチェック

選手・チームスタッフ・審判以外は入場リストで氏名の確認を行う。

リストに名前がない場合は原則入場を認めない。名前がある場合は入場時間を記載する。

ただし、緊急の追加対応については、Wリーグ運営担当責任者の判断による。

Wリーグ指定の「誓約書」を確認、署名の上、Wリーグへ提出すること。

3)試合当日の各種イベント等について

①各種メディア対応※後述の「入場制限試合」でも原則同じレギュレーションとする。

全ての来場メディアに Wリーグより下記の対応について徹底を求める。

「事前申請」

「体温の確認」

「マスク or フェイスシールド着用」

「2m以上の距離の確保」

基本的にメディア対応は以下の方針に則る。

実施するもの:

■試合終了後における両チーム「公式リモート会見」(1 チームあたり選手 2 名を目安とする)

※時間は 1 選手あたり 5 分程度とします。

対象選手は原則 Wリーグ側が選抜する。

原則行わないもの

■公式会見者以外の囲み会見・取材

※ただしキー局中継に伴う ENG 撮影などは事前申請があった場合のみ応じることもありますが、対応は最小限の人数とし、インタビュアーとの距離も 2m 以上必ず空けること。

■自チーム広報の公の場でのコメント撮り、動画撮影なども自重を求める。

②各種試合に伴うセレモニーについて

TIPOFF30分前のオープニングセレモニーは行わない。

※当然投げ込みグッズも不要です。

コート開放は、第1試合の場合 TIPOFF の90分前とする。

第2試合は第1試合の選手及びスタッフがアリーナフロアから退出後、「公式コート内消毒(5分)」&「場内換気」の完了が確認され次第可とする。

<基本タイムテーブル>

- 90:00 コートインOK(第1試合)
- 70:00 コートインスペクション(チームはコートクリア)
- 60:00 審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング(第1試合の場合)
- 45:00 審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング(第2・3試合の場合)
※目的:両クルー・メンバーの健康状態が問題ないことを確認・共有する。

~~-10:00 キャプテンミーティング~~

- 03:00 3分前ブザー／両チーム選手ベンチへ
- 01:30 1分30秒前ブザー／審判団紹介

【追記】本年は審判とのCAPミーティングは行わないものとする。

【追記】「審判・チーム(MGR)による健康状態共有ミーティング」を行うこととする

※目的:両クルー・メンバーの健康状態が問題ないことを確認・共有する。

第1試合の場合 : 試合開始 60分前

第2、3試合の場合: 試合開始 45分前

※試合未終了の場合は終了後に行う。

③対戦チーム同士のハイタッチなど各種所作について

以下の行為は感染防止の観点から自粛する。

- 1) 審判との握手(審判紹介後、試合前後など)※本年より不要通達済
- 2) ベンチ同士(HCや部長)の握手

試合中のチーム内でのハイタッチはコート内、ベンチ内ともに禁止とする。

試合後の両チーム同士のハイタッチも禁止とする。

④出待ち、入り待ち対応

Wリーグとしても告知をするが、無観客でも一目見ようと出待ち入り待ち行為をするファンの来場が予想される。

⇒出待ち入り待ち行為をするファンへの一切の対応を禁止とする。

※親族、他チーム選手、恩師、スポンサー、後援会長なども含め、公の場での接触行為は禁止とします。プレゼントを受け取る、写真・サインに応じることも厳禁です。

⑤選手ロッカー・控室での過ごし方

ミーティングなどやむを得ない場合を除き、決して広い施設ではないことと、密室であることをふまえ、長時間ロッカー室に滞留することは控える。

※サブコートを開放するので、チーム間で譲り合いながら且つ距離を置いて使用してください。

6. 入場制限試合

レギュラーシーズンは入場制限試合となる可能性がある。アリーナ内へ入場する人員を一定数保ちながら、クラブや選手、興行関連スタッフ、来場者の安全確保について最大限に配慮し、競技、興行の安定開催を第一とした運営を行う。

ここではリーグとして入場制限試合を実施する場合について記述する。

1) 入場者の考え方

① 入場者の制限数について

会場に応じてアリーナキャパシティの50%を上限として W リーグにて入場可能数を算出決定する。

目安として、固定座席に前後左右を少なくとも 1 席開けた状態を保てること。

国・行政のガイドラインを順守し、立ち見観戦は不可とする。

② 入場できないカテゴリー

基本的に来場不可とするカテゴリーは作らない。

上記キャパシティには、無観客試合時に来場が可能な者(選手・チームスタッフ・興行関係スタッフなど)は含まない。

③ 一般入場者/チーム・関係者入場者

原則「全席前売り」とする。前売り券を持参している者のみ入場を認める。

試合当日に会場でのチケットの一般販売は行わない。

※ただし残席がある場合、当日の第3試合開始時間までオンライン発券は可能。

「一般入場口」からの入場とします。

チーム・関係者用チケットは、原則1試合1チーム50枚とする。

当日の密を避けるため、また当日の受付渡しをなるべく避けるため、事前配布が望ましい。

ADカードを保持していても着座をするチームVIPやスポンサー、来賓、選手の保護者・親族も全てこの50枚の中で対応する。

なお、アリーナの収容数によっては50枚以下となる場合があることに留意すること。

例) ①の制限数が700人の場合

チーム・関係者用チケット 50枚×6チーム=300枚

一般販売数 400枚

チーム・関係者用エリアは原則2Fコートエンド側とする。

チーム毎の区画分けは行わない。

一般のエリア指定席エリアには絶対に座らないこと。

④ ADカード保持者

Wリーグスポンサー、サプライヤーなどの関係者の入場は可能。

ただし「関係者入場口」より入場し、検温とリストチェックを行う。

着座観戦の場合は指定エリアにて固定座席に前後左右を少なくとも1席開けた状態とする。

立ち見観戦は原則不可とする。

事前申請は不要だが状況によっては入場を断る場合がある。

アリーナフロアへの立入やチームとの接触は原則不可とする。

⑤ その他

チア・マスコットについては無観客試合と同様のレギュレーションとする。

※原則パフォーマンスの実施は認めません。

試合のスムーズな進行及び選手を優先した諸室の確保のため、入場する場合は③もしくは④のカテゴリーとする。

2)アリーナ内のゾーニング

アリーナ内のゾーニングは密の防止など感染予防の観点から以下のブロックに分け、原則として各ブロック間の不要不急の往来は禁止する。

- ①アリーナフロア:選手・スタッフ・審判・TO・コートキーパー
運営・演出関連スタッフ・中継スタッフ・カメラ&スチールメディア
アリーナ指定席購入者50名程度
- ②スタンド関係者エリア(2F):ペンメディア、ADカード保持者
- ③スタンド一般エリアA(2F):一般入場者
- ④スタンド一般エリアB(2F):チーム・関係者入場者

スタンド一般エリアは「エリア指定席」とする。

一定間隔で「着座禁止」の張り紙をし、観戦席間の距離を一定に保つ。

試合中の座席の往来は原則禁止とするが、試合間での移動は認める。

3)アリーナ内その他

①換気・空調

無観客試合よりアリーナ内の人数は増えるため、よりこまめな換気をする。

オペレーションに支障がない範囲でなるべく各種入り口は開放する。

試合間の「公式消毒」実施時には「公式換気」も併せて行う。

②掲出物

原則、以下の「リーグ管理物」のみ掲出可能とする。

設置及び節ごとの移動・管理は運営スタッフが行う。

ファンによる持ち込み・掲出は不可とする。

- ・Wリーグ 5 角フラッグ(ニュートラル色)
- ・チームバナー
- ・LOVEDバナー
- ・公式広告横断幕

※以下の掲出は不可とします

- ・チーム独自作成の横断幕
- ・ローカルスポンサー横断幕
- ・選手個人の応援幕

③チーム受付

- ・チームチケットは事前受付が望ましいが、受付での配布も許可する。
- ・チームチケット配布者は必ず名簿化し管理する。
- ・チーム事務局スタッフは最小限の人数とする。
- ・必ずマスク・フェイスガードを着用する。
- ・応援グッズなどの配布を認めるが置いたままでの配布は避ける。
※スティックバルーンの使用は禁止します。
- ・応援グッズ以外の物品配布やグッズ販売行為は禁止する。
チームグッズを販売する場合は別ブースとする。
- ・選手への差し入れの受付は禁止とする。

4) 応援団他エンターテインメントについて

①応援団

- ・今シーズンのレギュラーシーズンは応援団による応援扇動行為を禁止する。
- ・チーム独自の音響機器(スピーカー・サンプラー等)の持ち込みを禁止する。
- ・試合前の応援練習や大声でのあいさつ、試合後のあいさつを禁止する。
- ・立ち上がったの応援扇動行為は禁止する。
- ・BGMにあわせて手拍子やハリセンを叩く・掲げる等の行為は許可する。
- ・タオルマフラーの「振り」「回し」は禁止するが、「掲げる」は許可する。

②音響・BGM

応援の音響については運営サイドにより以下についてのみ行う。

- ・オフENSE音(5 曲まで)
- ・タイムアウト音(3 曲まで)
- ・スターティング5(1 曲)

※すべて即使用できる状態での音源データをWリーグに提出すること。

③チアリーダー・マスコット

- ・1)-⑤の通り、レギュラーシーズンでの出演は不可とする。
- ※アリーナ外やチーム受付等の出演も不可とします。

5)ファンサービスについて

・無観客試合での取り組みは継続して行うものとする。

Wリーグとしても告知をするが、無観客でも一目見ようと出待ち入り待ち行為をするファンの来場が予想される。

⇒出待ち入り待ち行為をするファンへの一切の対応を禁止とする。

※親族、他チーム選手、恩師、スポンサー、後援会長なども含め、公の場での接触行為は禁止とします。プレゼントを受け取る、写真・サインに応じることも厳禁です。

6)来場客へのアナウンス

来場客に対して、下記の感染拡大防止対策について協力を要請するとともに対応への理解を求めること。

- ・入場口での「他人数型サーモゲート」の通過を求める。
 - ※37.5 度以上の場合は声掛けの上、体温計での検温を行う。
 - 実際の体温が 37.5 度以上の場合は入場を認めない。
- ・再入場は可能であるがその都度ゲートの通過を求める。
- ・手指消毒液によるアルコール消毒への協力。
- ・(当日券を販売する場合のみ)半券に個人情報の記載協力。
- ・マスクの着用。
- ・紙チケットの場合、スタッフは券面の確認のみを行い、切り離しは来場客自身が行う。

7)1日3試合のレギュレーションに関わる重要事項

第22回大会のレギュラーシーズンは東西集中開催を行う都合上、状況によっては、チーム側にとっても通常のリーグ戦どおりの十分な環境が担保できない場合がある。未曾有の有事という背景を理解の上、本項への協力を要請する。

①練習会場：

- 6チーム来場に伴い、希望どおりの時間での練習が困難な場合が想定される。
- ・当該アリーナフロア：前日＋当日で最低30分-60分の確保を目標とする。

- ・遠方チームを優先し、近隣チームはなるべく自チーム体育館の使用を求める。
- ・外部体育館の使用も検討されたい。※Wリーグでのあっせんは行わない。

②アリーナへの入場・退場時間:

アリーナ内での密を防ぐため「指定時間での入場」と「速やかな退場」に協力を求める。

原則:第1 試合のチーム退館後に第3 試合のチーム入館可とします。

目安:

第1試合(12時試合開始)	来場 10:40 退場 14:30
第2試合(14時30分試合開始)	来場 13:10 退場 17:00
第3試合(17 時試合開始)	来場 15:40 退場 19:30

③試合間消毒への協力

試合間には必ず「公式消毒」を行うものとする(5 分間)

試合間消毒の場所:

- ・両チームベンチ
- ・TO及びオペレーション卓
- ・コートキーパー椅子
- ・アリーナフロア

次の試合のチームは必ず「消毒完了後」に入場すること

④オープニングセレモニー

30分前セレモニーは行わない。

よって投げ込みグッズの投入セレモニーはなし(感染症予防も含む)。

試合間については以下のとおり

- ・第1試合終了～第1試合選手退場
- ・試合間公式消毒(5分)
- ・MCアナウンスにより両チーム入場～ハドル～練習開始
- ・メンバーの読み上げはコート練習中に行う
- ・3分前ブザー

⑤ベンチ

ベンチ内におけるイスの間隔を1 席分空けること。

今シーズンに限り2 列目以降の設置を認める。

「市松模様」になるように交互に椅子を配席することが望ましいが、通訳など必要に応じて隣同士となる場合はやむを得ないものとする。

ミーティング時など、ベンチエリアの両サイド迄広く使用することを認める。

ベンチ内でのタッチや、若手選手によるタッチランニングなどは禁止とする。

スクイズボトルは個人専用とし、共用は行わない。

「チーム広報」のみ、ベンチ近辺での撮影を許可する。ベンチ入りは不可。

※専用ビブス、マスク・フェイスガードを必ず着用すること。

⑥退場・退館

試合後は速やかに退場すること。ファンへの手振りは許可する。

接触・会話・グッズの投げ入れ、差し入れの受け取りなどの行為は厳禁とする。
定型の記者会見以外の「囲み取材」は認めない。チーム広報も不可とする。
親・兄妹・恩師等との接見も禁止とする。
速やかな退館への協力を求める。

7. 各チームへの依頼事項

①感染防止とWリーグへの報告・連絡・相談

「新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために」厚生労働省HP
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000601720.pdf>

上記厚労省からのアナウンスや、チームドクターおよびトレーナーの指示に従い、
チーム単位にて感染防止に努めること。

37.5℃以上または平熱よりも+1.5 度の発熱を認めた場合は、チームドクターなどの指示
を仰ぐとともに、帰国者・接触者相談センターに電話連絡をして相談を行うこと。

■選手スタッフがPCR検査を行い、陽性反応が出た場合

■極めて近い関係者に陽性反応が出た場合

■選手スタッフが濃厚接触者と判断された場合

■極めて近い関係者が濃厚接触者と判断された場合

全ての場合において、速やかに必ずWリーグ事務局へ連絡すること。

また不明な場合、判断に迷う場合なども必ず相談すること。

②チーム装飾物の送付

以下については会場内に掲出するため、各チーム第1節の前日に着荷できるように
「前日練習時に持参」もしくは「直接会場に発送」すること。

・チームバナー※必須 ・LOVED幕※必須

③音源データの送付

以下については試合時に会場で流すため、全て9月1日(火)Wリーグ事務局必着にて送付すること。

- ・オフンス音(5 曲まで) ・タイムアウト音(3 曲まで) ・スターティング5(1 曲)
- ※全て即使用できる状態での音源データをWリーグに提出

④W リーグ公式広告横断幕データ送付

専用発注書(クラブ用、企業用)に記入の上、8 月 15 日締切厳守にてデータ送付。

⑤チーム・関係者入場券購入申請書

専用発注書(東西用)に記入の上、8 月 15 日締切厳守にてデータ送付。

- ・チームVIPエリアは設けない。全て同じカテゴリーとする。
 - ・チームエリア以外のチケットを希望する場合は W リーグチケット等で手配のこと。
 - ・原則 1 試合 50 枚とする。
 - ・1 枚のチケットで当日の全試合を観戦できる。
 - ・チーム単位の区画分けは行わない
 - ・原則、試合当日の追加は受け付けられない。事前に購入のこと。
 - ・新型コロナウイルス感染者が出た場合に追跡調査が必要となるため、チケット配布者の個人情報チームで管理すること。
- ※追跡調査以外の目的で個人情報を取り扱うことは禁止とします。

⑥SNSについてのご協力

集中開催となったことで試合を見ることが不可能となり失望しているファン、一方で移動や日常生活における選手の感染を不安視するファン、ファンは各種様々な意見や感情を抱いていることを十分に認識する。

その状況下において、SNSでのファンに向けてのアナウンスは非常に有効であり、こういう機会であるからこそ、ファンに向けたメッセージを積極的に発信してもらいたい。ただし、体育館や寮以外の場所など、不特定多数の者との接触を不安視させるような場所を想起させる投稿や、深夜帯などの投稿は控えること。

試合を楽しみにしているファンにバスケットボールを通じて元気を届けられるような前向きなメッセージの発信に協力を求めたい。

#Wリーグ

#踏み出せ

#バスケで日本を元気に



第 22 回 W リーグ実施運営ガイド【改訂版 対コロナ】

本ガイドラインの補完資料として、実際のリーグ戦の運用については第 22 回「W リーグ実施運営ガイド【対コロナ改訂版】」を参照する。



誓約書

一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ 御中



私は、第22回Wリーグにおける試合会場に入場するにあたり、下記の事項確認・承諾し、ここに誓約いたします。

記

1. 現在から過去14日以内に、平熱を超える発熱はありません。
2. 現在、新型コロナウイルス感染症の「疑い症状」といわれる、せき、頭痛、体のだるさ、のどの痛み、味覚・嗅覚の異常などの症状はありません。
3. 過去14日以内に新型コロナウイルスの感染者との濃厚接触はありません。
4. 同居家族、職場、身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われている人はいません。
5. 過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触はありません。
6. 本日から2日間以内に上記事項と異なる事象が発覚した場合は、速やかにWリーグ開催地担当者までに報告いたします。
7. 新型コロナウイルス感染防止に伴う、リーグスタッフからの指示に従います。

西暦 年 月 日

所属（会社名・協会名）：

氏名（自書）：

連絡先：
